

世界工学会議(WECC2015) 関連イベント in 京都 「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」国際シンポジウム



荒川の高規格堤防と自然地再生(東京都江戸川区)

近年の世界経済における安定には、後発発展途上国の経済発展の基盤作り、新興国の世界経済の牽引、さらに先進国の経済再生が必要であると言われる。それらを下支えするためにはインフラ整備・管理などが重要である。特に日本においては、防災や環境を配慮するといった総合的なインフラ技術の発展に支えられて急激な経済成長を経て成熟社会に至った。この日本のインフラ技術に支えられた歩みは、発展途上国の更なる発展、先進国の経済再生のための参考になると考えられる。

日本のインフラ技術の中でも、河川インフラ技術は、高度な治水・環境保全・利水等に利用され、発展してきた。これらの実績や知見を世界に発信するために、世界各国のエンジニアが集まる世界工学会議の場で、日本を始めとする各国の防災・環境に配慮した河川技術の取り組みについて、国際シンポジウムを開催し、各国の河川技術の専門家や関係者との意見交換の場を提供する。

主催: 「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」国際シンポジウム実行委員会

共同開催: 世界工学団体連盟(WFEO)
公益社団法人日本工学会
一般社団法人日本建築学会(AIJ)
公益社団法人土木学会(JSCE)
日本河川・流域再生ネットワーク

後援: 日本学術会議, 国交省

日時: 2015年11月28日(土) 9:00~18:00

会場: 国立京都国際会館, Room-D

定員: 約120名

行政関係者, コンサルタント, 学識経験者, 学生など, 工学に関わる方々の参加者を募集中

参加費: 無料*

申込方法: 参加希望者の氏名、所属を事務局(river-innovation@rfc.or.jp)に送付下さい

使用言語: 日本語・英語(同時通訳)

C P D: 土木学会継続教育(CPD)制度

7.8 単位認定

開催事務局(申込先)

(公財)リバーフロント研究所 内 企画グループ 伊藤

TEL: 03-6228-3862

FAX: 03-3523-0640

E-mail: river-innovation@rfc.or.jp

U R L: <http://river-innovation.net>



* 本シンポジウムは世界工学会議「WECC2015」の開催行事の一環として開催されるものですが、本シンポジウムのみに参加される場合は、世界工学会議「WECC2015」への参加登録は不要です。
* 本シンポジウムは公益財団法人河川財団による河川整備基金の助成を受けて開催するものです。

「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」国際シンポジウム

日 時: 2015年11月28日(土) 9:00~18:00

会 場: 国立京都国際会館, Room-D

プログラム

時間	講演タイトル/講演者
9:00~9:30	開会 主催/来賓挨拶 玉井信行(実行委員会 委員長, 東京大学 名誉教授) 佐藤順一(WECC2015 国内組織委員会 委員長, 日本学術会議) 石井弓夫(WECC2015 準備委員会 委員長, 元公益社団法人土木学会 会長) 小松利光(世界工学団体連盟 分科会委員長, 九州大学大学院 教授) 塚原浩一(国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課長) 主旨説明 伊藤一正(実行委員会 委員, 株式会社建設技術研究所 国際部)
9:30~12:30	セッションⅠ 河川の防災・減災に関するイノベーション 基調講演:津波による被害を軽減させる弾力性のある海岸構造物の技術革新について 磯部雅彦(高知工科大学 学長, 前 公益社団法人土木学会 会長) 講演 1: 災害リスクの軽減と持続可能な発展 - 日本の技術の発展途上国への適用性 - 三宅悟(JICA 地球環境部 副局長, 福島大学 特命教授) 講演 2: 災害リスク軽減と持続可能な発展 - 災害統計データによる事前投資効果の説明 - 塚原健一(九州大学大学院 教授) 講演 3: 西アジアにおける革新的水害対策について Ali Chavoshian (UNESCO イラン都市水管理地域センター ディレクター, イラン科学技術大学 准教授) 講演 4: ミシシッピ川デルタ湿原地帯の保全対策について Gary Parker(イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 教授) 講演 5: 台湾における複合災害対策について Wen-Chi Lai(台湾 国立成功大学 研究員)
12:30~13:30	昼食
13:30~16:00	セッションⅡ 環境・水利用に関するイノベーション 講演 1: オランダからのメッセージ: 水災害への備えと水の活用 Rob Stroeke(オランダ大使館) 講演 2: 東京水辺再生-川とまちの一体的空間整備 土屋信行 (公益財団法人リバーフロント研究所 理事, 日本河川流域再生ネットワーク 代表理事) 講演 3: 大都市における堰の活用に伴う湿地環境への影響に係る河川再生と河川利用の競合 Sukhwan JANG(韓国 大真大学 教授, アジア河川流域再生ネットワーク 会長) 講演 4: 『水と緑』の持続可能な住みやすい都市環境の創出 Hong-Mo Wu(台湾 台北市 副市長) 講演 5: バンコクの舟運と水辺開発 Supapan Pichaironarongsongkram (タイ チャオプラヤ・エクスプレスポート会社 スパトラグループ 代表)
16:00~16:20	休憩
16:20~17:45	セッションⅢ パネルディスカッション ・気候変動下の持続可能な社会の構築に必要とされる河川技術革新について 座長:玉井信行(実行委員会 委員長, 東京大学 名誉教授)
17:45~18:00	閉会式 提言公表(まとめ) 玉井信行(実行委員会 委員長, 東京大学 名誉教授) 閉会宣言 依田照彦(実行委員会 委員, 早稲田大学 教授)

世界工学会議 2015 国際シンポジウム
「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」

1. 目的

近年の世界経済における安定は、後発発展途上国の経済発展の基盤作り、新興国の世界経済の牽引、さらに先進国の経済再生が必要であると言われる。それらを下支えするためにはインフラ整備・管理などが重要である。特に日本においては、防災や環境を配慮するといった総合的なインフラ技術の発展に支えられて急速な経済成長を経て成熟社会に至った。この日本のインフラ技術に支えられた経済発展の歩みは、発展途上国の更なる発展、先進国の経済再生のための参考になると考えられる。日本のインフラ技術の中でも、河川インフラ技術は、高度な治水・環境保全・利水等に利用され、発展させてきた。これらの実績や知見を世界に発信するために、世界各国のエンジニアが集まる世界工学会議 (WECC2015) の場で、日本を始めとする各国の防災・環境に配慮した河川技術の取り組みについて、国際シンポジウムを開催し、各国の河川技術の専門家や関係者との意見交換の場を提供するものである。

2. 開催諸元

主 催： 「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」実行委員会

共同主催： 公益社団法人 日本工学会 (JFES)

世界工学団体連盟 (WFEO)

日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

一般社団法人 日本建築学会

公益社団法人 土木学会

後 援： 日本学術会議

国土交通省 (予定)

Asian River Restoration Network

日 時： 2015 年 11 月 28 日(土) 9:00~18:00

会 場： 国立京都国際会館, Room-D

〒606-0001 京都府京都市 左京区宝ヶ池 (TEL: 075-705-1234)

定 員： 約 120 名 (聴講者は、行政関係者、コンサルタント、学識経験者、学生など、工学に関わる幅広い層を予定している。)

申 込： 「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」実行委員会 事務局

(公財)リバーフロント研究所 企画グループ 伊藤 river-innovation@rfc.or.jp

同時通訳機器の準備の関係上、事前申し込みをお願いします。

様式はありません。所属 (会社名)、連絡先、参加者氏名をメールでお送りください。

使用言語： 日本語・英語 (同時通訳あり)

なお、当シンポジウムは、世界工学会議 (WECC2015) の開催行事の一環として開催される。

3. プログラム案

シンポジウムは以下の3つのセッションから構成される。

セッション I : 河川・水域の防災・減災に関する基調と一般講演

セッション II : 河川環境・水利用（利水/親水）に関する講演

セッション III : 社会貢献の視点からの災害と環境に関する河川技術・管理についてのパネルディスカッション

プログラム	講演タイトル等	氏名	備考
開会挨拶			
9:00～9:30 (1名×6分)	主催者挨拶	玉井 信行（「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」実行委員会委員長，東京大学名誉教授）	主催者（「河川技術」実行委員会）による挨拶
(3名×3分)	共同主催者等挨拶	佐藤 順一（日本工学会会長） 石井 弓夫 （WECC201 実行委員会 委員長） 小松 利光 （WFEO 副会長，九州大学名誉教授）	共同主催者による挨拶 佐藤様、石井様、小松先生の順にシンポジウムの趣旨に近い分野の方より挨拶
(1名×7分)	来賓挨拶	塚原 浩一（国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 課長）	
(1名×8分)	シンポジウム趣旨説明	伊藤 一正（河川技術実行委員会委員，WECC201 実行委員会 幹事）	実行委員会から、シンポジウム（3つのセッションを総括）の趣旨説明スライド使用予定
セッション I : 河川・水域の防災に関するイノベーション			
9:30～10:00 (1名×30分)	基調 : Innovation for resilient coastal structures to reduce tsunami disaster	磯部 雅彦（高知工科大学 学長，土木学会第102代会長）	
10:00～12:30 (5名×30分)	講演 1 : (仮題) 水関連災害に対する我が国の国際貢献について	三村 悟（JICA 地球環境部）	
	講演 2 : 気候変動適応策と水災害に強い地域計画について	塚原 健一（九州大学 教授）	
	講演 3 : Innovative Approach to Cope with Water Hazards in the West Asia	Ali Chavoshian （イラン Regional Centre on Urban Water Management, RCUWM-Tehran, under the UNESCO, ディレクター）	
	講演 4 : How to build new land in the Mississippi delta	Gary Parker（米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 教授）	
	講演 5 : (仮題) 東アジアにおける台風・豪雨による水・土砂災害の軽減対策	Wen-Chi Lai （台湾国立成功大学 上席研究員）	
昼食休憩（12:30～13:30）			
セッション II : 環境・水利用（利水/親水）などに関するイノベーション			
13:30～13:40 (1名×10分)	セッション II の趣旨説明	玉井 信行	
13:40～16:10 (5名×30分)	講演 1 : (Tentative) Message from the Netherlands: protecting from the power of water, using the power of water	ロブ ストロークス（在東京 オランダ大使館科学部 専門職員）	
	講演 2 : Loss and recovery of lowland rivers in Tokyo	土屋 信行 （河川技術実行委員会 事務局長）	

プログラム	講演タイトル等	氏名	備考
	講演3：（仮題）韓国の都市河川整備事業とその社会効果	Sukhwan Jang （韓国 Daejin University 教授）	
	講演4：（仮題）愛河の整備による都市への影響	Hong-Mo Wu （台湾 高雄市 副市長）	
	講演5： Water Transportation and River Front Developments in Bangkok	Supapan Pichaironarongsongkram （タイ国 Chao Phraya Express Boat Co. Ltd. 議長）	
休憩（16:10～16:20）			
セッション III：社会貢献の視点からの防災・環境などに関わる今後の河川整備・管理			
16:20～17:45 (85分)	パネルディスカッション ・気候変動下の持続可能な社会の構築に必要とされる河川技術革新について。	座長：玉井 信行 セッション I と II の講演者から各2名参加して頂く（Gary Parker 教授, ロブ ストロークス氏, Sukhwan Jang 教授, 日本「多分 JICA 研究員」）	
閉会式			
17:45～18:00 (1名×5分)	提言公表： 河川技術が果たすイノベーションと社会貢献	玉井 信行	パネルディスカッションを踏まえた提言を座長より総括
(5分)	フォトセッション	講演者及び総合討論関係者	集合写真撮影（セレモニー）
(1名×5分)	閉会挨拶	依田 照彦（日本学術会議 土木-建築委員会委員長, 早稲田大学 教授）	事務局による閉会宣言
懇親会			
18:30～20:00	懇親会 （会場：がんこ高瀬川二条苑）	担当：塚原健一 講演者、実行委員の参加のみ想定	9月以降献立は確定、20名超で予約した「世界工学会議国際河川シンポジウム」（塚原先生）にて。

（注意）※は現段階で予定（依頼中）である。

（略記）： JFES＝日本工学会

JICA＝国際協力機構

JRRN＝日本河川・流域再生ネットワーク

WFEO＝世界工学団体連盟

WECC2015＝World Engineering Conference and Convention, held at Kyoto in 2015.

4. 「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」実行委員会

当国際シンポジウムは、「世界工学会議」のサイドイベントとしての位置付けで、世界工学団体連盟-災害リスク管理委員会（WFEO-CDRM）も含めた各関係団体による実行委員会を組織する。

4.1 実行委員会

実行委員会の構成は以下のとおりとする。なお、実行委員会の規約は別紙を参照のこと。

区分	氏名	役職	所属等	連絡先
日本工学会	依田照彦	会計監査	WECC2015 実行委員会 幹事長 （早稲田大学）	yoda1914@waseda.jp
	伊藤一正	会計	WECC2015 実行委員会 委員・幹事 （株）建設技術研究所	k-ito@ctie.co.jp

世界工学 団体連盟	小松利光		WFEO 副会長兼 CDRM 委員長 (日本学術会議 WFEO 分科会, 九州 大学名誉教授)	komatsu794@gmail.com
	塚原健一		WFEO-CDRM 委員会 幹事長 (日本学術会議 WFEO 分科会, 九州 大学教授)	tsukahara@doc.kyushu-u.ac.jp
日本 河川 再生 ネット ワーク	玉井信行	委員長	JRRN 顧問 (日本河川再生ネットワーク)	n_tamai@mba.ocn.ne.jp
	土屋信行	事務局長	JRRN 理事長 (公財)リバーフロント研究所)	nob5mis3@yahoo.co.jp

4.2 事務局

国際シンポジウムの開催にあたり、実行委員会のサポート機関として、以下の人員を事務局とする。

区分	氏名	役職	所属等	連絡先
世界工学 団体連盟	木村延明	事務局	WFEO-CDRM 委員会副幹事 (九州大学)	nkimura3@civil.kyushu- u.ac.jp
日本 河川 再生 ネット ワーク	伊藤将文	事務局	JRRN 事務局員 (公財)リバーフロント研究所)	ito-m@rfc.or.jp
	内藤太輔	事務局	JRRN 事務局員 (公財)リバーフロント研究所)	naito-d@rfc.or.jp
	後藤勝洋	事務局 (補助)	JRRN 事務局員 (公財)リバーフロント研究所)	gotou@rfc.or.jp
	木村達司	事務局 (補助)	JRRN 事務局員 (株)建設技術研究所)	tt-kimura@ctie.co.jp
	和田彰	事務局 (補助)	JRRN 事務局員 (株)建設技術研究所)	a-wada@ctie.co.jp

4.3 講演者等の情報

名前 Name	職務, 所属 (国) Position, affiliation (country)	専門分野 Specialty/Background
磯部雅彦先生 Dr. Masahiko Isobe	土木学会第 102 代会長, 東京大学名誉教授 (日本) Professor and Dean, Kochi University of Technology (Japan)	海岸防災に関する研究, 内湾 の水環境に関する研究 Coastal Engineering
三村 悟 氏	JICA 研究センター, 上席研究委員, 福島大学特命教授 (日本)	国際防災協力, 被災者支援
塚原健一先生 Dr. Ali Chavoshian	WFEO 災害リスク管理委員会 幹事, 日本学術会議 WFEO 分科会 幹事 (日本) Regional Centre on Urban Water Management, RCUWM-Tehran, under the UNESCO, Director; Iran University of Science and Technology 助教 (イラン)	都市地域計画 災害対策
Dr. Gary Parker	Professor, Dep. of Civil & Environmental Engineering, Dep. of Geology in University of Illinois at Urbana- Champaign (USA)	河川の土砂・漂砂の流れの物 理的メカニズムの研究
Dr. Wen-Chi Lai	Adjunct assistant professor, Dep. of Hydraulic and Ocean Engineering, Adjunct professor, Program of Natural Hazards Mitigation and Management in National Cheng Kung University (Taiwan)	土砂災害の防止と保護: 地下 流体の変化, 観測網の設置と 整備, 地殻ひずみと応力計算 の研究
Mr. Rob Stroeks	Senior Advisor, Science department, Netherlands Embassy and Consulate General in Tokyo (Nederland)	Architectural design 建築デザイン
土屋信行様	元東京都建設局課長, 元江戸川区土木部長 (日本)	都市計画, 水災害対策

Dr. Sukhwan Jang	Professor, Daejin University (South Korea); Chair, ARRN(Asia River Restoration Network)	Hydraulic Engineering/ Urban Disaster Mitigation
Dr. Hong-Mo Wu	Deputy Mayor, ex-Director General of Public Works Bureau, Kaohsiung City Government (Taiwan)	Safety, Health and Environmental Engineering
Mrs. Supapan Pichaironarongsongkram	Head, Supatra Group	
玉井信行先生	「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」実行委員会委員長, 東京大学名誉教授, JRRN 理事長 (日本)	河川生態系の研究, 河川計画
佐藤順一博士	日本工学会 会長, WECC2015 会長, 元東北大学, 清華大学等の客員教授, 2011 年度日本機械学会会長 (日本)	燃焼工学
石井弓夫博士	WECC2015 実行委員長, ㈱建設技術研究所 相談役, 元 WFEO 副会長, 土木学会第 95 代会長 (日本)	建設技術
小松利光先生	WFEO 副会長, WFEO 災害リスク管理委員会 委員長, 河川技術実行委員会委員, 日本学術会議 WFEO 分科会 委員長, 九州大学名誉教授 (日本)	環境流体力学, 水・土砂災害適応策の研究
伊藤一正博士	河川技術実行委員会委員, WECC2015 実行委員会幹事, ㈱建設技術研究所 技師長, 元 WFEO 災害リスク管理委員会 幹事 (日本)	水工学
依田照彦先生	日本学術会議 土木-建築委員会委員長, WECC2015 実行委員会幹事長, 河川技術実行委員会委員, 早稲田大学 教授 (日本)	構造力学・橋梁工学
JICA	= Japan International Cooperation Agency	
TBA	= To Be Announced	
TBD	= To Be Determined	

As of August 30, 2015.

詳細は, 当河川技術実行委員会ホームページを参照 : <http://river-innovation.net/presentation.html>